

---

# 日本ロシア文学会会報 第42号 2013年2月

---

1. 2012年度第62回総会報告 2. 10月・12月理事会関連事項、3. 学会費制度の一部改正、  
4. 国際交流助成制度の一部改正 5. 会員異動 6. 事務局からのアナウンス
- 

## 1. 2012年度第62回総会報告

第62回定例総会・研究発表会は、2012年10月6日（土）、7日（日）、の両日、同志社大学今出川校地新町キャンパス臨光館で開催されました。10月6日（土）の午後に開催された定例総会の主な内容は以下の通りです。

### (1) 第9回日本ロシア文学会賞表彰

小椋彩氏（論文部門）に、桑野学会賞選考委員長より表彰状が、沼野会長より賞金が授与された（秋草俊一郎氏（単行本部門）は留学のため欠席）。

### (2) 議長団選出

関東支部より中澤佳陽子氏、関西支部より三浦由香利氏、北海道支部より越野剛氏が選出され承認された。

### (3) 会務報告

事務局より会員異動（2011年10月～2012年10月）について報告があり承認された。

### (4) 各種委員会報告

各種委員会の委員長より、これまでの活動について簡単な報告があった。

### (5) 2011/2012年度決算および会計監査報告

2011/2012年度決算が事務局より説明され、監事2名に確認いただいたことが報告された後、拍手で承認された。

### (6) 学会費ワーキンググループの提案について

野中学会費ワーキンググループ座長より提案の背景が紹介された後、資料に従って提案内容が説明され、若干の質疑が行われた後、提案は拍手で承認された（詳細は「3. 学会費制度の一部改正」の項を参照）。

### (6) 2012/2013年度予算案について

事務局より、2012/2013年度の予算案が（本年度から特別会計を設けることも含めて）資料に沿って説明され、若干の質疑が行われた後、拍手で承認された。

### (7) 2013年度大会について

2013年度大会は東京大学・本郷キャンパスで行われることが紹介され、担当校の沼野会長より挨拶があった。

なお、時期については現在交渉中であり、12月理事会までには決定したいと報告された。

### (8) 次期事務局長および新委員について

事務局より次期事務局長は早稲田大学の坂庭淳史氏にお願いしたいとの報告があり、坂庭氏より挨拶があった。ついで、沼野会長より2013年度大会組織委員会のメンバー、委員長：沼野充義、委員：望月哲男、金田一真澄、乗松亨平の各氏と、2013年度大会実行委員会のメンバー、委員長：乗松亨平、委員：沼野充義、坂庭淳史、前田和泉の各氏が紹介され、乗松氏より挨拶があった。欠員については12月理事会で決定されることが確認された。

### (9) その他

#### ・ ICCEES 幕張大会について

沼野会長より2015年に幕張でICCEESの世界大会が開催されるので、積極的に参加してほしいとの呼びかけがあり、実行委員の乗松氏から補足の説明があった。

## 2. 10・12月理事会関連事項

10月理事会は、10月6日（土）に同志社大学新町キャンパス臨光館で、12月の理事会は12月15日（土）に東京大学本郷キャンパスで開催されました。主な報告事項および審議事項は以下の通りです。

## 10月理事会

■会員異動（入会1名、退会3名、休会1名）——「5. 会員異動」の項を参照。

■2011/2012年度決算について

■学会費ワーキンググループの提案について

■2012/2013年度予算案について

■2013年度第63回大会について

■次期事務局および新委員の選出について

以上は総会報告を参照。

■ロシア語教育委員会のアンケートについて

9月末にまとめられた「第二外国語としてのロシア語」教育状況調査」アンケートについて、山田ロシア語教育委員長から、回答者に結果の送付を行ったことなどの報告があり、それをめぐって意見が交わされた。その後、結果の評価とそれに対する対応について、現ロシア語教育委員会に検討を依頼し、12月理事会までに一定の方向性を出してほしいとの要請がなされた。

■その他

ICCEES第9回世界大会について、沼野会長より大会の性格と意義、財政的な問題点などについて説明があり、日本ロシア文学会も積極的な参加・協力を検討してほしいとの提案があった。

## 12月理事会

■会員異動（入会1名、退会6名）——「5. 会員異動」の項を参照。

■2012年度第62回大会および4学会合同大会の総括と会計報告

佐藤大会組織委員長より大会のプログラム編成、大会資料集の作成などをめぐって総括がなされた後、松本大会実行委員長より大会の準備・運営をめぐって総括が行なわれ、135,735円が返金されたことが報告された。また、望月4学会合同大会幹事より共同シンポジウムをめぐる総括がなされ、事務局より日本ロシア文学会が負担した分担金は30,660円だったことが報告された。

■2013年度第63回大会（東京大学本郷キャンパス）について

日程が2013年11月2日（土）・3日（日）に決まったことが報告された。なお、プレシンポジウムの日程は、国際交流委員会が企画している国際シンポジウムとの関係で未定であり、懇親会も今のところ2日を予定しているが、変更の可能性もあることが報告された。

また、大会実行委員会・大会組織委員会のメンバーは以下のように決定された（敬称略）。

大会実行委員会：委員長 乗松亨平、委員 沼野充義、金沢美知子、坂庭淳史、前田和泉、鴻野わか菜

大会組織委員会：委員長 沼野充義、委員 伊東一郎、金田一真澄、乗松亨平、望月哲男

■ロシア語教育委員会のアンケートについて

①これまでの経緯（アンケートの実施、回答者へのフィードバックなど）、②希望する学会員にはpdfファイルで送ること、を記した報告を委員長に作成していただき、それをホームページに掲載することになった。

■2015年ICCEES幕張大会に向けた学会としての取り組み

「人的支援」「財政的支援」をめぐって、日本ロシア文学会がどのように関与できるかを検討する「幕張WG」の立ち上げが提案され、そのメンバーが以下のように決定された（敬称略）。

座長 中村唯史、委員 野中進、乗松亨平、望月哲男

■その他

・事務局より2013年に会長選挙が行なわれるので、7月の理事会までに各支部は選挙管理委員を1名選出してほしいとのアナウンスがあった。

・沼野会長より、長年研究・教育に貢献されてきた50歳以上の世代を対象とした新しい賞（仮に「二葉亭四迷賞」と呼ぶ）を設けたらどうかという提案があり、その検討のためのWGをつくることになった。

WGのメンバー（敬称略）：沼野充義、諫早勇一、望月哲男、桑野隆、佐藤昭裕

### 3. 学会費制度の一部改正

「常勤職にない会員の研究奨励のための特別会計」の設置に関する内規（抜粋）

2. 本特別会計は常勤職にない会員の研究奨励に資するさまざまな学会事業に充てられる。
3. 維持会費は本特別会計の収入とする。
5. 以下の申し合わせ等の事業については、本特別会計から支出されるものとする。
  - (a) 「大会の研究発表会での報告者、および学会賞受賞者への旅費補助に関する申し合わせ」
  - (b) (JCREES（日本ロシア・東欧研究連絡協議会）加盟の複数の学会に加入している大学院生会員に対する）「会費減免に関する申し合わせ」
  - (c) 「常勤職にない会員に対する会費減免に関する申し合わせ」
  - (d) 学会の各種委員会などによって企画され理事会で承認された、常勤職にない会員に対する各種研究支援企画

会費規定（抜粋）

- 1) b 維持会費（有志会員が納入し「常勤職にない会員の研究奨励のための特別会計」の収入とされる）  
1 口5,000円
- 2) 学会在籍年数が40年を超える会員は事務局への自己申告により、会費の免除を受けることができる。ただし維持会費の納入が推奨される。

「大会の研究発表会での報告者、および学会賞受賞者への旅費補助に関する申し合わせ」について

対象者を「大会の研究発表会で報告を行う者」と「学会賞を受賞して表彰を受ける者」から「司会を行う者、大会期間中に理事会・委員会に出席する者」にまで広げ、「フルタイム（任期付きを含む）の職についていない研究者」を「常勤職にない会員」と言い換えて、「ここでいう「常勤職にない会員」には任期付き常勤職、日本学術振興会の特別研究員、年金受給者は含まれない」と内容を明確にした。

「常勤職にない会員に対する会費減免に関する申し合わせ」

1. 日本ロシア文学会その他に、全国規模の学会（国外の学会も含む。特定大学の卒業生などに会員が実質的に限定されている学会は含まない）に加入している「常勤職にない会員」には、普通会費を毎年1,000円減免する。ただし、2011年度以前の会費の滞納がある場合、その分の減免は行わない。
2. これまで行われてきた上記「会費減免に関する申し合わせ」〔注：上記内規の5(b)を参照〕の対象者は、前項の減免と合わせて最大2,000円の減免とする。
3. なお、ここでいう「常勤職にない会員」には任期付き常勤職、日本学術振興会の特別研究員、年金受給者は含まれない。その他、翻訳・通訳・著述などの職種については、本人の申告によるものとする
4. 「常勤職にない会員」として申告する者は、振替用紙の通信欄に、1)日本ロシア文学会以外に加入している学会の名称、2)現在の身分（修士/博士課程学生、研究生、非常勤研究員、非常勤講師等）を明記の上、普通会費より1,000円（第2項に該当する者は2,000円）少ない額を納入する。

### 4. 国際交流助成制度の一部改正

前年度に試行された「国際学会等での報告に関する助成」については、以下のように一部が改正されました。

- 助成対象：2012年6月1日～2013年5月31日までに開催された国際学会への報告参加
- 申請〆切日：2013年5月31日
- 変更点
  - ①助成対象を、既に国際学会での報告を終え、報告記ないし学会印象記を執筆し、学会サイトに掲載した人とする。

②報告記ないし学会印象記の字数を「2,000 字以上・上限なし。写真付きが望ましい」から「800 字以上・上限なし。写真付きが望ましい」に変更する。

③関連して、提出書類・資料の簡略化を図る（事後審査を原則とすることに鑑み、上記「報告記ないし学会印象記」の他に、「学会プログラム」、「報告原稿」の3点のみとする）。

④募集の際、「応募者が多数の場合には、原則として新規応募者を優先する」との一文を入れる。

（なお、「公開研究会・（ミニ）シンポジウム等の実施に対する支援費」に関しては、助成対象と申請〆切日を上記に揃えるほかは変更なし）

## 5. 会員異動（敬称略）

**ご逝去：**宮川保栄（関東） 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

**入会：**〔氏名（支部）専攻分野（推薦者）〕

巽由樹子（関東） ロシア出版史（沼野充義、鳥山祐介）、

藤原潤子（関西） 文化人類学（林田理恵、堀江新二）、

**退会：**嶋田敦子（関東）、米重文樹（関東）、ゾーヤ・エフィーモワ（関東）、村上光昭（関西）、

河原畑浩一郎（関西）、近藤扶美子（関東）、金沢大東（関東）、近間由美子（関東）、御子柴道夫（関東）、

**休会：**秋草俊一郎（関東）

## 6. 事務局からのアナウンス

●本年度分の学会費をまだ納入されていない方々には振替用紙を同封いたしました。学会はみなさまの会費によって支えられていますので、納入いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

●本年度より維持会費は「有志会員が納入し「常勤職にない会員の研究奨励のための特別会計」の収入とされる」と改められました。会員のみなさまの積極的な納入をお願いいたします。なお、1口5,000円です。

●学会費が1,000円減免されるためには、「常勤職にない」だけでなく、「全国規模の学会」に加入していることが条件になっていますので、お間違いのないようお願い申し上げます。

●2013年度の大会の日程が11月2日（土）、3日（日）と決まりましたので、ご予約ください。

●2013年4月から学会の事務局は下記に移転いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 坂庭淳史研究室気付

TEL : 03-5286-0581

E-mail: sakaniwa@y.waseda.jp

日本ロシア文学会会報 第42号 （2013年2月18日発行）

発行人 沼野 充義 編集人 日本ロシア文学会事務局

〒602-0898 京都市上京区烏丸通上立売上ル 志高館 308

同志社大学言語文化教育研究センター 諫早勇一研究室内

電話 : 075-251-2628

E-MAIL: yisahaya@mail.doshisha.ac.jp